

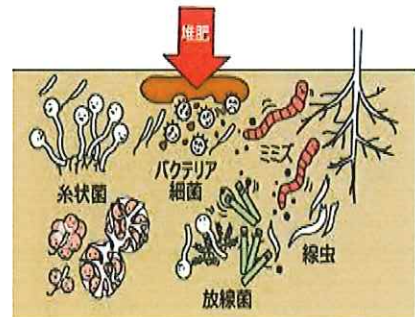
★微生物資材特集★

○土壤微生物とは・・・○

土壤には多種多様な微生物が存在し、その数は1グラム中に1億以上になるとも言われています。自然な状態では様々な菌が生息しており、悪玉菌の密度が高まると病害が発生します。

○土壤微生物の効果（良い菌を土に入れてあげると・・・）○

- ・善玉菌が悪玉菌の増殖を抑制し病気が出にくい土壤になります。
(連作障害やセンチュウ被害の軽減に役立ちます。)
- ・善玉菌の働きで根の周りの環境が良くなり栄養分の吸収を高めます。
- ・土壤中の粒子が小さな固まりを形成し、排水性・保水性が向上します。
- ・作物残渣を分解し、堆肥化する効果があります。
- ・稲わらや牛糞などの堆肥と微生物を併用する事で善玉菌の住処が増えて相乗効果が期待できます。
- ・悪玉菌の方が生命力が強い為、善玉菌の定期的な補給が必要です。



○微生物資材・肥料の案内○

アーゼロン菌・バチルス菌・有用微生物など・・・土作りで病原菌対策してみませんか？



①タキアーゼS(1-5-1)有機質土壤改良材

アーゼロン菌(清浄有効微生物群)で動植物系有機物を発酵させて作った良質な堆肥です。土壤中の粒子が小さな固まりを形成し(団粒化)、保水性・透水性・通気性を高めます。



②ターフスパイス(8-3-8)菌入り化学肥料

バチルス菌とは、自然界に存在する土壤細菌であり有機物を分解する働きがあります。ゴルフ場での刈りカス(サッチ)を分解する効果があり、緩やかに窒素として芝に還元されます。



③明星1号(6-6-6)有機複合肥料

酵素・微生物入り肥料。放線菌や有効細菌などの有用微生物や酵母を多量に含んだ原料を使用しています。このため「作物に良い」だけでなく「土作り」にも大変役立つ肥料です。
(微生物資材は連用することにより効果がより高まります)

○穂肥についての豆知識○

近年はコーティング肥料(一発肥料)の普及で、穂肥を施肥する事が少なくなってきました。一方でイネに目を向けると猛暑の影響や根張りが不十分な事が原因でイネが肥切れする事が多くなっており、乳白米や胴割米などの品質低下も発生します。従来の元肥+穂肥を行う事で、安定して粒数を確保しさらに登熟を良好にする事で暑さに負けない稲作りを目指したいと思います。

一発肥料の穂肥は遅めの出穂15～10日前にしき島(10～20kg/10a)が決め手です。

質問、問い合わせは(株)シマヤ 齊藤TEL:080-6133-2083